

## 二宮西中学校の「総合的な学習の時間」を支援



補給艦「ときわ」艦内で概要説明



曳船による体験航海



体験喫食

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 三上 陸尉）は、8月31日（木）、二宮町立二宮西中学校1学年10名（他教諭1名）に対し、「総合的な学習の時間」の一環として行われた海上自衛隊横須賀基地における職場体験を支援した。

当初、横須賀地方総監部による概要説明の後、曳船による体験航海を実施し、学生達は目を輝かせながら横須賀基地の湾内を見学していた。その後、補給艦「ときわ」に乗艦し、補給艦の特性や装備品に関する説明に真剣に耳を傾けるとともに、艦内での体験喫食において、終始笑顔で食事をする姿は印象的であった。生徒の中には「将来自衛官になりたい」という者も数名あり、大変有意義な体験となった様子であった。

平塚地域事務所は、「今後も自衛隊に対する正しい理解と、一人でも多く自衛官を志願してくれることを期待し、引き続き支援していく」としている。

## 海上自衛隊第2術科学校オープンスクール

### 神奈川地本カレッジ防衛モニター 勝呂 拳人

9月10日（土）、横須賀にある海上自衛隊第2術科学校のオープンスクールをカレッジ防衛モニターとして研修した。同校は、海上自衛官が艦艇機関に必要な知識や技能の修得をはじめ、情報や外国語等の術科教育を行っている。

教材として使われている艦船の機関室には、1万3000馬力を誇るガスタービンエンジンがあり、非常に大きく迫力があつた。本来は轟音がするエンジンだが、減音させるための機構が付いているそうだ。また、より小型の原動機やモーターの構造なども見せてもらった。学校で学んだことがある科学の原理でモーターが回り、電磁力から回転運動のエネルギーを得る仕組みであると分かり、過去に学んだいろんな原理が応用されて艦船のエンジンが作られているのだと、感慨深いものがあつた。

艦船や機械いじりが好きな人にとって、海上自衛隊は自分の技量を試すことができるともに試されると同時に知識や経験を最大限に活かすことのできる場所であり、メカ好きな人にはたまらない職場であろうと感じた。

## 特務艇「はしだて」体験航海

### 神奈川地本カレッジ防衛モニター 勝呂 拳人

9月22日（木・祝）、カレッジ防衛モニターとしての活動として、特務艇「はしだて」の体験航海に参加した。同艇への乗船は、自衛官でも非常に稀なことだそうなので、大変貴重な体験をする機会を頂いた。

同艇は、国際交流を主な任務として活動し、災害版權等の際には、医療設備を備えて出港することもできるという。乗船すると、国賓を迎えてもなすためのデザイン性が高く、また収納スペースが至る所にあり、艦艇としての機能性と日本の「おもてなし」を両立させた特別な空間が広がっていた。

艦内説明で特に驚いたのは、会議室や待機室として設けられた部屋が、いざとなれば手術や治療を行うための場所になるということで、当日は椅子やテーブルが固定されていたためまったく想像ができなかった。

当日はあいにくの雨で波が立っていたので酔いを感じて乗船したが、ほとんど揺れを感じず快適だったのは驚くとともに、乗組員の、てきぱきと行動する洗練された動きがとても印象に残った。

特務艇「はしだて」の乗組員に限らず、艦艇で勤務する海上自衛官は有事に対応できるように、地上のどこにいても勤務する船にすぐに戻ってこられるよう心掛けていているという。彼らのたゆまぬ努力によって日本の海が護られている事を改めて感じた。